

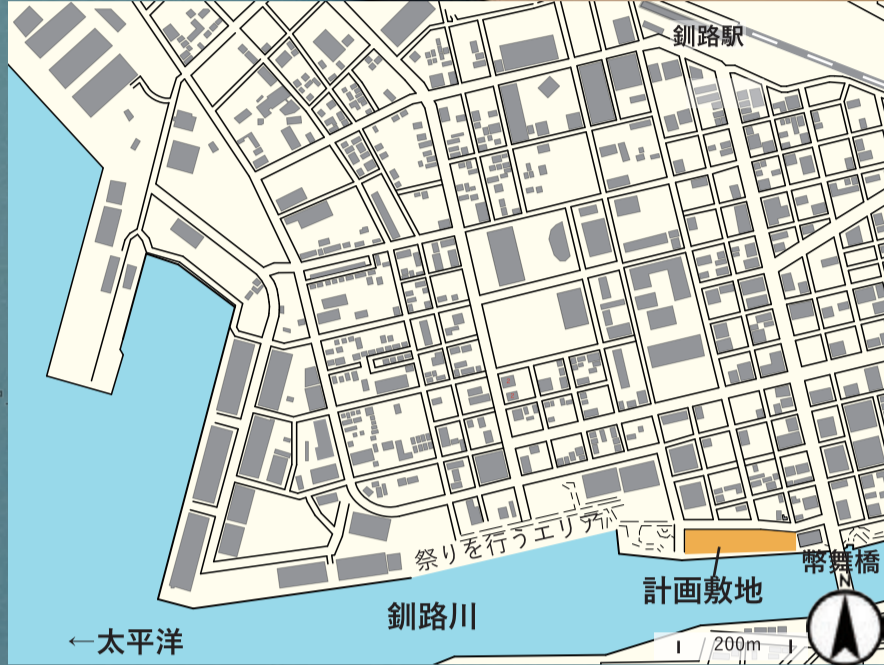
# ウォーターフロントにつどう



## ■北海道釧路市

豊かな自然に恵まれ、特別天然記念物のタンチョウやマリモも生息している。豊富な漁場と広大な酪農地帯を有し、良質な食材に恵まれた地域。東北海道の中核・拠点都市として社会・経済・文化の中心的な機能を担う。

〈魅力〉  
世界3大夕日・霧・湿度・食・タンチョウ



## ■計画敷地

北海道釧路市錦町2-4 敷地面積：約7000㎡ (現状)  
 釧路駅から徒歩12分 用途地域：商業地域  
 釧路空港からバスで55分 建蔽率：80%  
 容積率：400%

### 〈特徴〉

- ・夕日を綺麗に見ることができる
- ・太平洋、漁船が見える
- ・敷地の西側には夏にお祭りの屋台が並ぶ

### 〈敷地周辺〉

- ・シャッター街、古い個人商店が多く活気がない
- ・ホテルや居酒屋が多い

### 〈現在の問題点〉

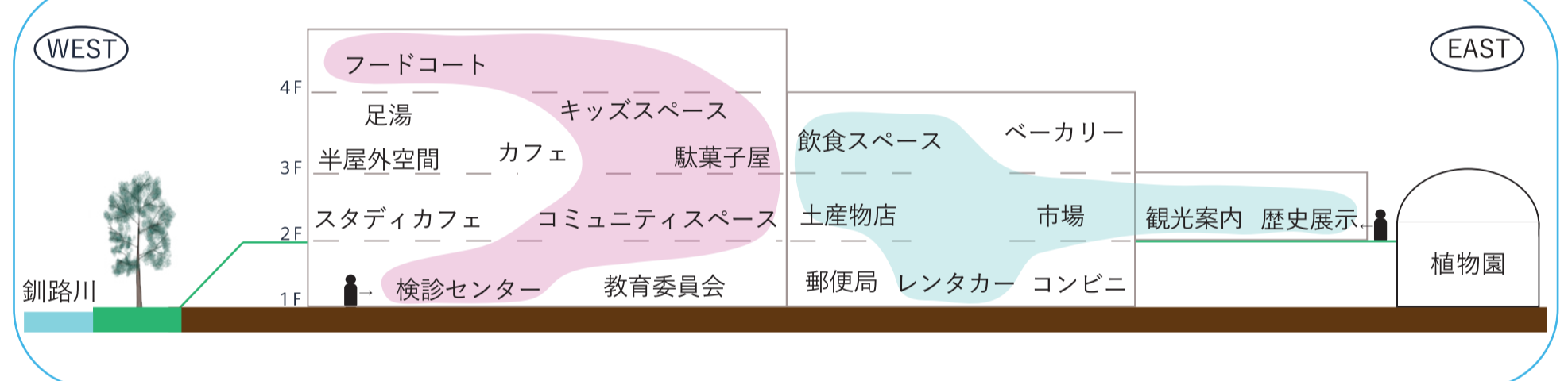
- ・観光客向けの印象が強く、市民の日常に関わりが薄い
- ・魅力的な若者向けのイベントがない
- ・東日本大震災時に津波で浸水 (津波高2.1m)
- ・ロケーションがいいのに身近な市民が利用しない

観光客のための特別な施設ではなく市民が日常的に利用する施設に

## 歩き、見つける

目的(きっかけ)以外の機能に興味を持ってもらい、「またこよう」「今度はここにこよう」と継続して訪れてもらう。

きっかけ	また来なくなる
学生	スタディカフェで勉強
主婦	足湯で疲れを癒しに
親子	コミュニティスペース (親子イベント)

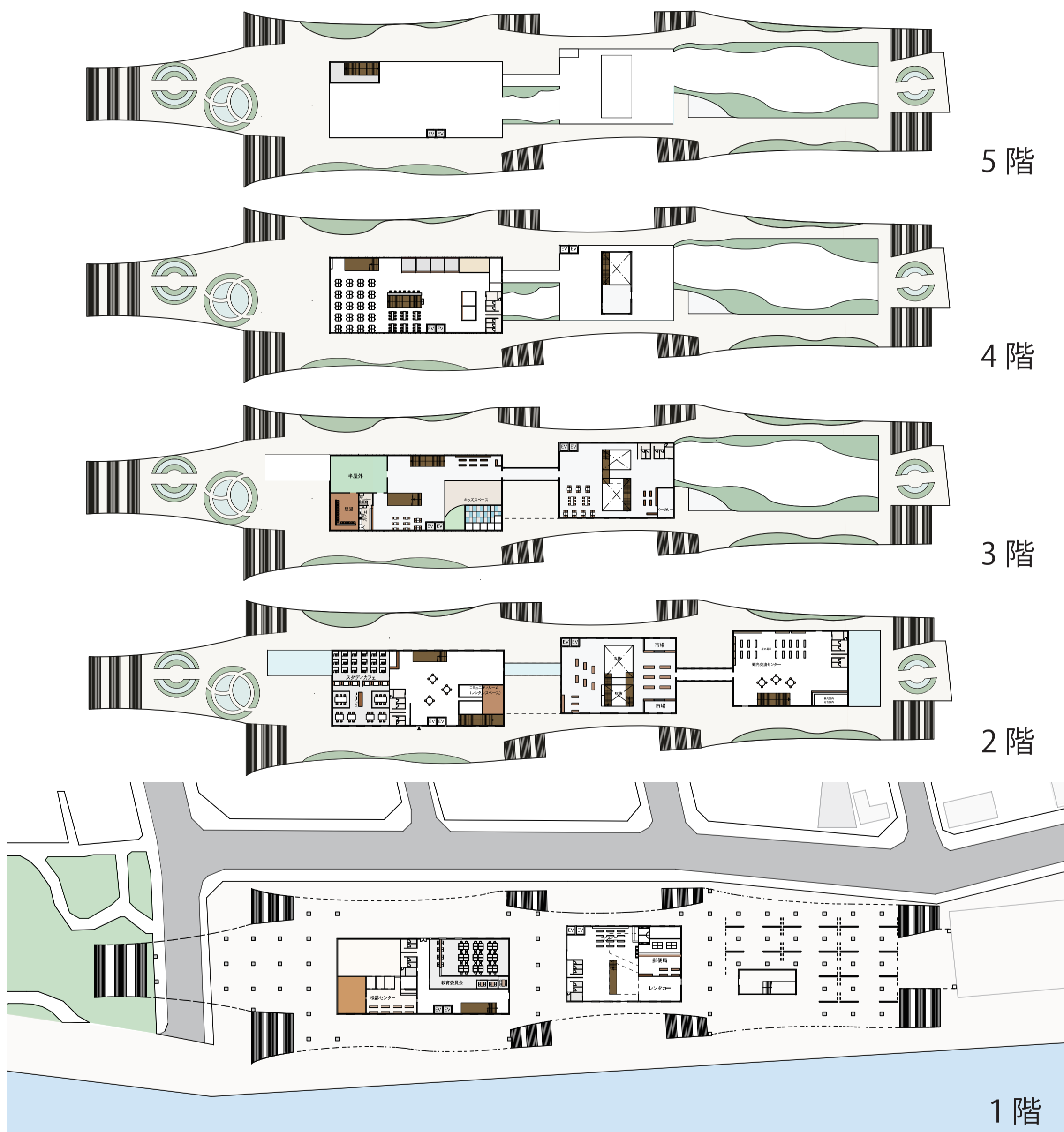
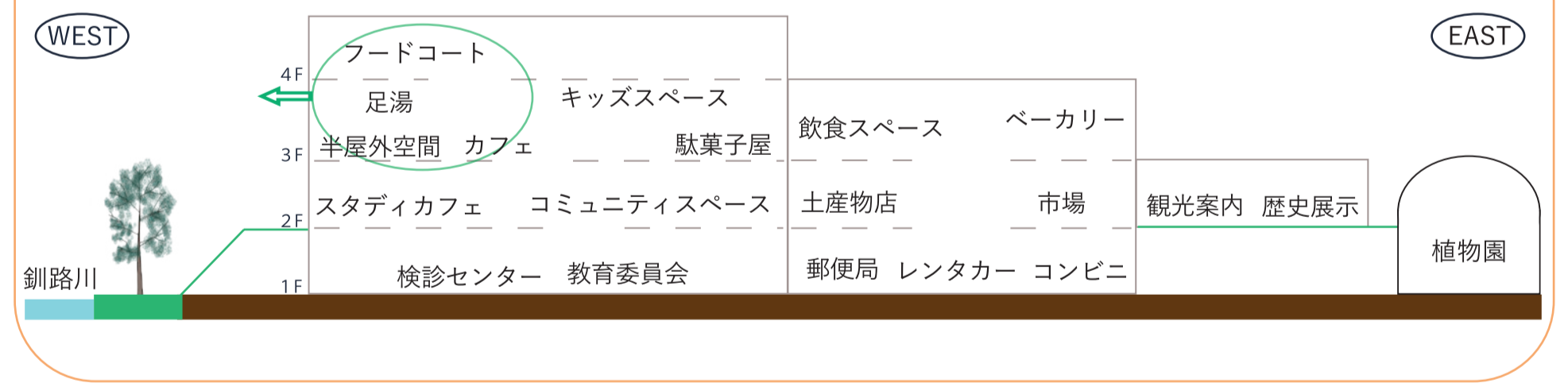


## ここにしかない価値を、釧路といえばここ

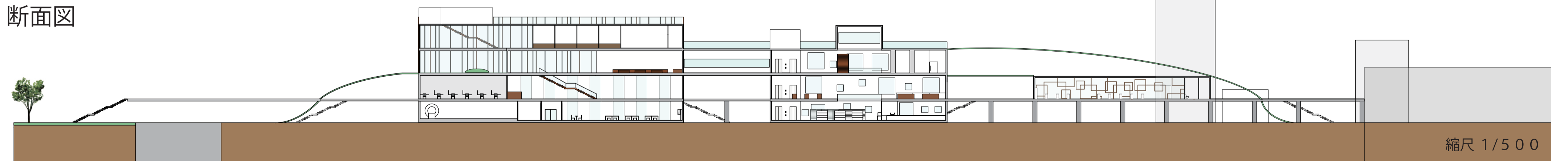
観光客には特別感を、地元住民は住む地域の良さを再発見。食や四季の移ろい、霧や夕日などの魅力を合わせて味わえる場所に。

観光客	市民
観光の起点となる場	日常的に、継続して利用
食や景色魅力を体感できる場	日常の中で景色のよさ、住む地域の魅力を感じる
地元の人との関わりを持つ場	若い人が休日や放課後にいく新たな選択肢に

## 景色を楽しみながら食事ができる



## 断面図



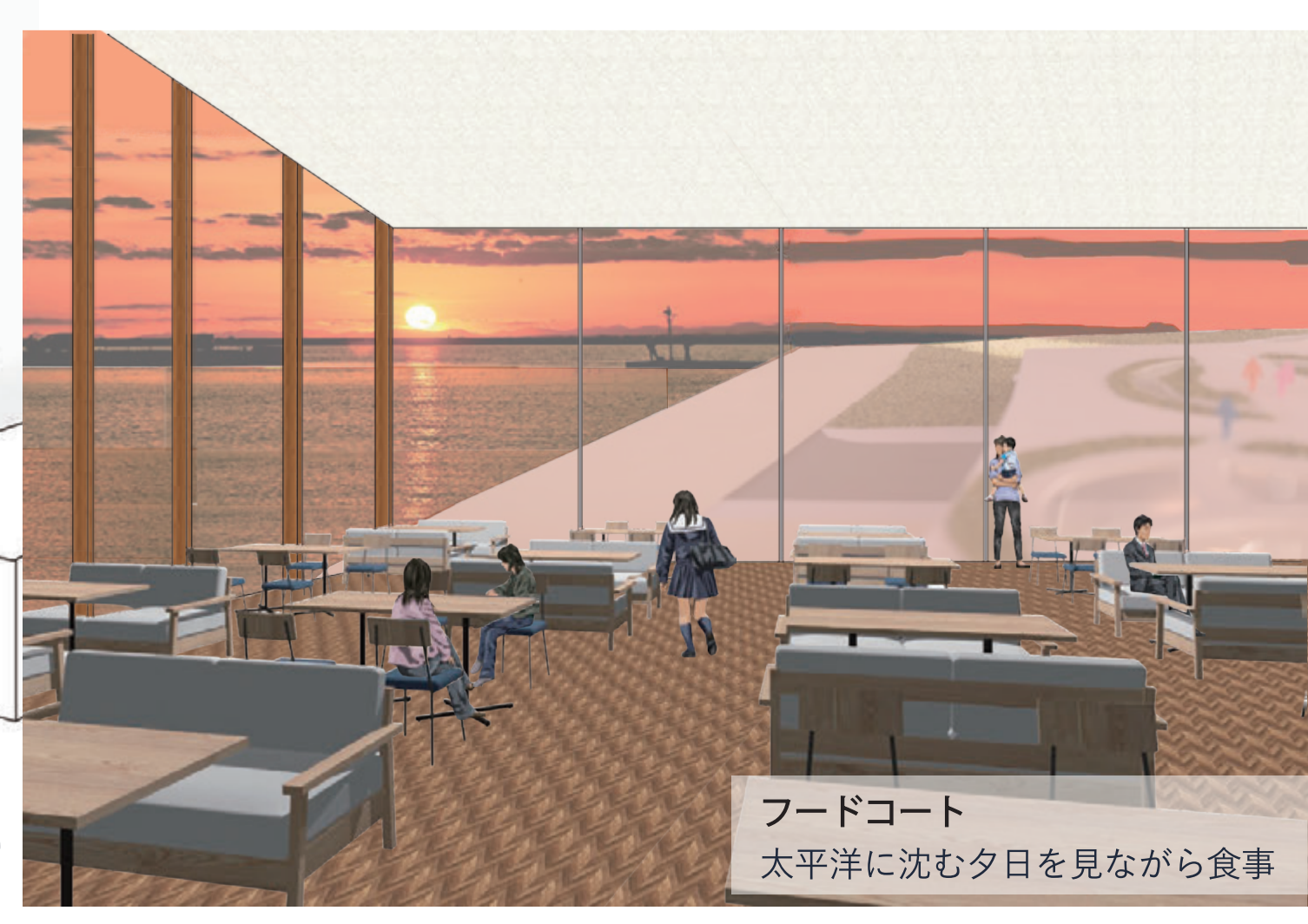
縮尺 1/500



釧路川沿いを散歩する人が立ち寄り交流が生まれる



市場で話す店員と観光客 会話の中で特産物への理解を深めたり コアおすすめスポットを知る



フードコート 太平洋に沈む夕日を見ながら食事